



マルチステークホルダーによる北陸における ESD 普及のための仕組みづくり
第 2 回 ESD 講座石川セッションのご案内

開催趣旨：

昨年 3 月の学習指導要領の改訂により持続可能な社会づくりが学習指導要領の中に明記されて以来、「持続可能な社会づくり」を教えるための様々なカリキュラム作りの工夫がユネスコスクールをはじめとする多くの学校で進められつつあります。それらの学校で ESD カリキュラムを円滑に作成、実施するためには、学校と大学、地域の NPO/NGO、企業、地域社会等との連携・協働が非常に重要と考えられますが、残念ながら北陸地域では、必ずしもそのような連携・協働が活発に行われていません。その原因の一つは、学校と NPO/NGO や企業とがお互いの活動の仕組みを良く知らないためとも言われています。

このため、本講座では、学校におけるカリキュラム作成の手順・スケジュールについてご紹介いただくとともに、学校と大学との連携の事例、NPO/NGO サイドからの協働に向けた取組と課題、学校と企業等との連携事例等についてご発表いただき、どのようにすれば多くのステークホルダーとの効果的、効率的な連携が可能となるかについて討議することを目的とします。

開催日時：平成 21 年 11 月 8 日（日）午後 1 時 30 分～4 時 30 分

開催場所：石川県広坂庁舎 2 階シティカレッジ教室 1

〒920-0962 金沢市広坂 2-1-1 石川県広坂庁舎 1 号館 2 階

プログラム

- | | |
|-------|---|
| 13:30 | 開会挨拶 |
| 13:35 | 学校におけるカリキュラム作成の手順—大学との連携による ESD 推進の経験：金沢市田上小学校 福久俊彦校長（発表 20 分、質疑 10 分：以下同じ） |
| 14:05 | NPO・NGO による学校との協働に向けた取組み：金沢エコライフくらぶ 青海万里子氏 |
| 14:35 | 学校・企業・NPO・行政の連携による ESD 推進：石川県環境部 地球温暖化対策室 新 広昭参事／石川県立明和養護学校 池田陽一教諭 金沢市材木町小学校 大浦博幸校長 |
| 15:05 | 仙台市における取組み—杜々かんきょうレスキュー隊環境学習プログラム 集の紹介：金沢大学フロンティアサイエンス機構 鈴木克徳 |
| 15:15 | 休憩 |
| 15:30 | 討議 |
| 16:30 | 閉会 |